

あなたの身近な文化財

— 都城の生活の記憶 —

身近なものから貴重なものまで、多様な資料を収蔵している都城歴史資料館。今回の企画展では、昔の都城の人々の暮らしが分かる未公開の資料を中心に展示し、その由来や使い方などを分かりやすく解説します。この機会に、あなたの身近にある文化財を探してみませんか。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



市制施行十周年記念三ツ組盃



襖の下張り文書

展示内容

① 行事で贈られた記念品

市制記念や議会などの特別行事を実施した際に作られ、住民に贈られた記念盃を紹介します。

【資料】 市制施行十周年記念三ツ組盃など

② 先人たちのエゴ

物資が今ほど豊富ではなかった時代、何かを調達する際には、不要物を再利用することもありました。このような、昔の人々の知恵が垣間見える文化財を紹介します。

【資料】 襖の下張り文書など

③ 昭和のガイドブック

暮らしを豊かにするために発行された一般家庭向けの本や手帳など、



盆地の子ども しつけ12章

昔の人々が生活に役立てていた書物を紹介します。

【資料】 盆地の子ども しつけ12章など

④ 近現代の日用品

近現代と現代では、同じ目的で作られたものでも、使い方や形が変化してきたものもあります。少し昔の日用品に焦点を当て、それらの概要や豆知識などを紹介します。

【資料】 薬箱、薬袋、煙管など

⑤ 袋に残された記憶

昔の包装紙や袋に残されている住所や電話番号など、当時の都城を知る手掛りから都城の今と昔をひもときます。

【資料】 レコード袋など



薬箱、薬袋



⑥ 今と昔のおもちゃ

懐かしのおもちゃやゲームなどを、年代ごとに紹介します。

【資料】 ハンドスピナー、けん玉など

● 会期

12月17日(金)～令和4年5月8日(日)
※月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日) および年末年始(12月29日(水)～1月3日(月))
は休館

● 開館時間 9時30分～17時

※入館は16時30分まで

● 入館料

大人220円(160円)
高校生160円(110円)

小・中学生110円(50円)

※()は20人以上の団体料金